

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和6年度）2025

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	3	10	月	11:00	12:30	藤小学校	7名
活動名称	藤小 3年生 野外授業の発表会					報告者：吉井 優	

1、活動目的

里山クラブは、2016年から依頼されて実施している藤小3年野外学習支援をしてきました。数年前までは、秋に藤金市民の森を会場として野外授業の発表会を行っていました。

保護者も参加する発表会は、我が子がしっかり人前で発表できることに、保護者の方々が感激していることが印象的でした。今年度は、初めて教室で発表会を行うことになり、担任の先生から発表会参観を依頼され、興味を持った会員が7人参加しました。

2、活動内容ほか

発表会では、市民の森で体験したことまたは、市民の森に関連したことをテーマに、グループで調査し、調査内容をA1用紙1枚か2枚にまとめて、グループごとに発表します。11時から12時半まで、初めは3組のクラスごとにクラスの児童の間で発表し、後に別のクラスの児童を対象に発表することにしていました。

テーマでは、自然遊び、竹で作った遊び道具、杉と檜について、ヒガンバナ、コウモリ、草花について、キノコについて、川について、ドングリなどがありました。特に印象に残ったのが、「市民の森について」でした。まず驚いたことは、市民の森ができたきっかけとして、国土交通省の市民緑地契約制度があげられていました。市民の森の説明として「市民の森は身近かな自然とのふれあい空間としての活用を図りながら、貴重な緑を保全していくために維持管理している森で、土地所有者のご協力により解説されました。」と書いています。小学3年生の研究発表でこれが話されたことにも驚きました。発表の締めくくりでは、市民の森発表チームの全員が、市民の森でゴミをひろおう、草木を大切にしようなどと、市民の森を大切にす小学3年生らしい発言が聞かれました。

3、評価：

初めて教室内での野外授業発表会を参観させてもらったが、授業時間の有効利用や、準備作業の簡略化などをふまえると、これはこれで有りかなとも思えます。森での発表会は、保護者も参加できたため、感激していた保護者が多くいたことを思うと、保護者も参観できるとよいかもとは思いますが。児童たちは市民の森を通じて、いろいろな自然現象に関心を持ち、このような発表につながったこと、及び市民の森チームのように、市民の森を大切にしようという言葉が聞けたことで、我々が支援した野外授業が鶴ヶ島の自然を守るきっかけになっているという実感がもてたことで、この授業を継続していく意義を感じました。

4、課題 なし

<里山参加会員>

小澤邦、小沼、小澤弘、石川、杉山、清水、吉井

<活動写真>



